

平成28年10月11日

旭川開発建設部総合評価審査会の審議概要について

～第22回総合評価審査委員会を開催しました～

平成28年9月14日（水）に開催された第22回旭川開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

技術管理課 課長 竹本 勝美 (0166-32-3897)

技術管理課 上席専門官 河村 英樹 (0166-32-4649)

第22回旭川開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成28年9月14日(水) 旭川開発建設部 入札執行室	
委員	北島 宏 (東海大学名誉教授) ○許士達広 (北海学園大学教授) 今 尚之 (北海道教育大学准教授) 長澤徹明 (北海道大学名誉教授) (五十音順、○印は委員長)	
議 事	1. 総合評価落札方式の実施結果について ① 天塩川改修工事の内 美深地区河道掘削工事 ② 一般国道40号 音威子府村 音威子府改良工事 ③ 上士別地区 第2地区16線西工区区画整理工事 2. 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について ④ 温根別地区外4地区 農業用ダム耐震性能照査検討等業務	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意 見・質 問	回 答	
1. 総合評価落札方式の実施結果について ①天塩川改修工事の内 美深地区河道掘削工事 ・8月の台風の影響による大雨に対して、留意事項の提案内容が有効だったのか教えて欲しい。 ②一般国道40号 音威子府村 音威子府改良工事 ・施工計画重視型の評価方法について説明してほしい。 ・施工計画重視型の場合、NETISの評価項目がなくなり、留意事項の中で評価をしているが、NETISでなければ評価しないということはあるのか。	・高水敷に水は被っているが、その段階においても、事前に機械の待避、出水時に備えた掘削も終わっており、ほとんど影響なく工事が完了しているところです。 ・施工計画重視型は評価を2段階でおこなっていて、①課題、②対策の両方が評価されないと評価対象とはなりません。 評価点数の差がつかなくなったため、技術力のある者を評価することを目的し、今年から始めた試行工事です。 ・トータル点数を変更しないで、留意事項の配点を高くした分、評価しない項目および配点を低くしている項目があります。 NETISを使用しても、高い評価をすることはできません。	

<ul style="list-style-type: none"> ・業者が受注後にICT活用を止めた場合はどうなるのか。 <p>③上士別地区 第2地区16線西工区区画整理工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の安全に関する留意事項で、場内での作業員の安全管理を記載している者と、第三者に対する安全管理しか記載していない者があるが、同じ評価とした判断はなぜか。 ・農業部門では、最初から項目を設定しているのは何故か。 ・若手育成の事後評価をどうやっていくのか。 <p>3. 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について</p> <p>④温根別地区外4地区 農業用ダム耐震性能照査検討等業務</p> <p>【上記工事・業務について適切な評価と認める】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の工事は、施工者希望型Ⅱなので、受注後、請負者の判断によって、止めても問題ありませんが、工事成績への加点はされません。 ・市街地と隣接している現場であり、双方の視点でみる必要があり、評価をしています。今後は視点がバラつかないような工夫を心がけたいと思います。 ・工種が多岐にわたるので、単にテーマを決めると書きづらいため、工事毎にテーマを絞った方が書きやすいと考え、明確に項目を設定しています。 ・留意事項に記載された内容が、実践されているかを確認します。今後は実績をもとに工事に参加していただけたらと思っています。 ・特になし <p style="text-align: right;">以上</p>
---	--